

令和4年度(2022) 予算が決定

主な事業を紹介

令和4年度予算が市議会3月定例会(2月24日～3月23日)で可決されました。
予算は3つの柱を中心に編成しています。

当初予算総額 **3,171億4,371万円**
(前年度比 4.7%増)

うち一般会計 **1,703億173万円**
(前年度比 7.0%増)

施政方針



施政方針演説を行う
長内繁樹市長

新型コロナウイルス感染症は約2年にわたり、日々の暮らしの制限、地域経済への影響など、市民の皆さんの命と健康に大きな影響と不安をもたらしました。そのような中でも、保健所を中心に全庁一丸となって臨むとともに、市民・事業者の皆さんや、医療従事者の皆さんなど多くの方々のご協力とご支援のもと、度重なる緊急事態を乗り越えることができました。

そのような状況から、令和4年度予算は、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組むとともに、本市の明るい未来のため、いま必要な施策を速やかに実施する予算編成としました。市民の皆さんに寄り添い、コロナ後の未来へと歩みを進めるため、柔軟な発想と変革を通して財源創出することを基本に、「子どもたちの未来のために」、「コロナを乗り越え、その先に」、「暮らしを便利・快適に」の3つの重点項目を柱に据え、力強く取り組みを進めてまいります。

1 子どもたちの未来のために

- 中学校全員給食開始 11億7,427万5千円
- (仮称) 南部コラボセンターの開設
29億9,546万6千円
- 庄内さくら学園の建設等
60億1,378万8千円
- (仮称) 南校の基本設計着手 9,000万円
- 児童相談所の設置準備 3,326万2千円
- ヤングケアラー支援事業 647万3千円
専用相談窓口の設置、周知啓発

- ICT等を活用した学び方改革の推進
4億8,840万円
GIGAスクール運営支援センター開設
ICT支援員を全市立小・中学校に配置



2 コロナを乗り越え、その先に

- 迅速かつ円滑なワクチン接種の推進
18億3,116万8千円
- 感染症の健康二次被害、フレイルや
認知症を予防するための支援
5,902万6千円
新たにコロナ健康支援課を設置

- デジタル地域ポイント付与事業
5,309万円
- 市内でお買物応援事業 2億7,516万円
- 大阪国際空港周辺緑地の整備
2,095万2千円

3 暮らしを便利・快適に

- 消防指令業務の高度化
～映像通報システム「Live119」導入～
283万8千円



- 引っ越しワンストップサービス導入
4,624万5千円
- LINEのさらなる活用 517万円
- 電子契約の導入 117万円
- 総合ハザードマップの点訳版および
音訳版作成 46万6千円